

# 愛の献血特集 献血手帳をもって



司会 これまでのように売血制度は禁止されたため、黄色い血液もなく、副作用の心配もほとんどなくなり、献血をしている本人とその家族については、必要とする血液を優先的にかつ条件なしで供給されます。

## 出席者

- |       |     |
|-------|-----|
| 岡田 茂範 | 浜改田 |
| 森下 真男 | 立田  |
| 吉川 静恵 | 稲生  |
| 尾木 誠郎 | 園分  |
| 細木 清  | 協和  |
| 泉 務   | 協和  |
| 広 報   | 委員  |

敬言順  
敬称略

もし、血液を必要とするときは献血推進会へ相談されると適切な処置をしてくれます。しかし献血されてない方は利用した血液を返していたことが原則とされています。

司会 献血にあたっては、一般市民や会社、団体を対象に行なっています。が、一般の人たちの理解はまだまだすくない状態にあります。

## 市民の献血量は 需要の約六割

司会 市の献血量は市民の需要量の約六割でしかなく、一般献血よりも指定献血が比較的に多い傾向にあります。

森下 会社など組織のあるところのものはいくつか、一般の組織づくりのないところでは、とくに「恩返しの意味から」その地区にいる血液を受けた人たちが、一人から三人となるべく多くの人たちに献血を呼びかけ、引きつけてゆくことも一つの方法ではないでしょうか。

尾木 同感です。……ぜひそのように協力してゆきたいと思えます。

## 「受血者のついで」を

森下 自分一人での「恩返し」はしれたものですが、血液の供給を受けた体験を通じて献血の重要性を訴え、人あつめの呼びかけをしてゆくことは受血者としてしてゆかねばならない一つの道だと考えます。

吉川 受血者のついでをつくること、地区の公民館長、婦人会や老人クラブなどの世話のできる人たちの協力を得るようになります。これからの活動にプラス

# 病院に走った



## 市民の血液は 市民の手で!!

を合いことばに、昭和四十一年六月、県下でさきがけて献血推進会(会長山本尚一医博)を結成、愛の献血活動がすすめられています。

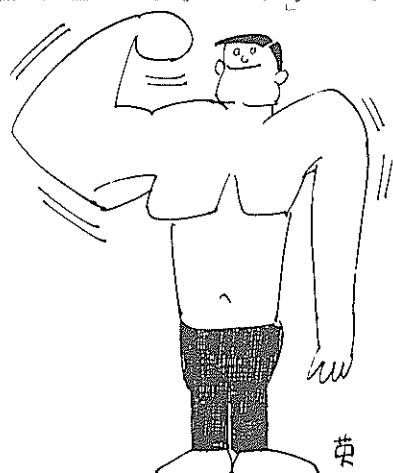
しかし、ますます激化してゆく交通戦争と近代医学の進歩にともない血液の需要は年ごとに増加の傾向にあつて市民の血液需要量に五百人程度の献血量の不足をみており、いまいっそうの協力がのぞまれています。

カットした気持ちになりました。現在まで、献血は五回ですがこれからも若い元気なときでできる限りしてゆきたいと思つています。

司会 血液に対する一般の認識はまだまだ低く、身近に問題がでたときあわてて相談にこられるケースが多いようです。

まず、献血の動機といったことから、岡田 車を運転することから事故に会つたものときに献血しておけば、血液を早く届けてもらえるのではないかとということ、献血をはじめました。

初めての献血は四十三年の成人式で、そのときは恐ろしい気持ちでしたが、一度献血してみるとそんな不安は消え、かえつてス



必ず2~3時間で回復

一度に足りなくなりました。事ができるだろうか、といったような不安感がありました。実際にやってみてそんな危惧は一度に足りなくなりました。

なかも協和、鈴江、陵和さんには年二回程度の協力を願ひながらの実績をあげることができています。……

八月には百十九人の献血者がありました。この献血活動については労使の話し合いで実施して、会社での献血のほかに個人的に献血をしている人たちが少なくないようです。

## 近所の人の協力で 親せきと

森下 直腸かという突然下血しはじめ、取るものも取り扱えず「献血手帳」と金とをさげて保険証を持たずに入院しました。出血がひどく、血液センターからすぐ血液が届けられるか、どうか不安でしたが、血液が届け

尾木 二十人の新鮮血が必要だということ、いろいろ相談した結果、近隣、農協青年部の人たちに協力願ひ、三十人分の血液を確保することができ、無事心臓手術を受けることができました。副作用はいまのところまったくないようです。

森下 これまで輸血をして貰ったなどの副作用があつたとよく聞きますが、これまでのところ体に変調は見られず安心していきます。

血液はもどさなければならぬということですが、病院から病院へ変つていったためかなにもいってきません。しかし、再手術に使つた分については消防団員などの協力によって、あらかじめ準備しておきました。

になると思われます。多くの人はわれ関せずという考えでいるようですが、血液が必要となつてはじめて血液の重要性を知り、あわてて相談に走りだすということになり勝ちになるように思われます。

尾木 高校時代、団体の選手として出場したこともあり体力については自慢できるだけの自信をもっていました。ところが昨年春、急に体がだるくなり診察を受けたところ心臓

に異常があることが判り、手術を受けたわけですが、自分でもよもや血液が必要になろうとは思っていませんでした。森下 みんなに殺されても死なな

献血メモ

- 普通健康体であれば誰でも献血できます。そして健康をそこねることはありません。安心してご協力ください。
献血できる方は、
▷満16歳以上、満65歳未満の方。
▷体重が男子45kg、女子40kgを超える方。
▷血液の比重が1.052以上の方。
献血をされる場合
▷採血直前には、なるべく脂肪などの多い食物をとらないようにすること。
▷採血には4~5分かかりますが、痛いことはありません。
▷採血の回数
▷1カ月1回以上の採血はいたしません。
▷1年間に6回以上の採血はしないようにしています。
▷1回の採血量は、原則として200cc(牛乳びん1本程度)です。
▷献血はあなた自身を救うことです。若い元気なうちに献血しておけば、もしものとき、優先的に血液が届けられます。
▷献血手帳は全国共通
▷献血手帳は全国どこでも通用するものです。いつも身につけて保存してください。



写真 血圧検査も慎重に(大浦・武市慈男君) 医師の診断、血圧、血液の比重などの検査のあと、採血されます。

あなた何型 Rh(-)は200人に1人

ただ梅毒の感染などを絶無にするために、保管期間として最低四日間を必要としています。そのため採血後五日目あたりから使用できることになり、実際の使用期間は十七日、十八日間です。

O型の血液はOとA、B、AB型のいずれにも輸血することができ、A型はAとAB型、B型はBとAB型、AB型はAとBのみにしか輸血することはできません。しかし最近同型の血液を使用するのが一番良い結果が得られることから、同型の血液を輸血することが常識となつていきます。



AB型は、A B型のみ輸血

また、A型などの四つの血液のほかに全く別の血液型や赤血球の因子と呼んでいます。それに対しての反応を示す人がありますので、Rh(+)-Rh(-)と呼んでいます。日本人の中にはRh(-)の人は、約5%程度、均二百人に一人の割合にいます。日本人の血液型は、A型が四十%、B型が二十%、AB型十%、O型三十%という分布になっています。

献血者には「血液を無料」で県4月から実施

ことし4月から県では、献血者の善意にむくいるために、献血者がもし事故などで血液を必要とするときは、県がその料金を負担し、献血者の負担をなくすることになります。

また、A型などの四つの血液のほかに全く別の血液型や赤血球の因子と呼んでいます。それに対しての反応を示す人がありますので、Rh(+)-Rh(-)と呼んでいます。



ころばぬ先の杖

市民交通傷害保険

昨年一年間に南園管内(大津介良を含む)で発生しました人身事故は四百六十五件で、これにより十六人が死亡し、六百八十八人が負傷しています。

いわれ、日ごとに交通事故は増加の一途をたどっています。交通事故は、いつあなたをおそうかも知れません。ころばぬ先の杖。ぜひ市民交通傷害保険へ加入し

- もしものときに備えてください。
加入の資格
南園市に住んでいる人。
南園市に通勤、通学している人。
一人一口に限り加入できます。
保険料
(掛け金)
一人 六百円
(四十六年六月一日から四十七年五月三十一日までの一年間)
中途の加入は月割 五十円
例えは、七月から加入される人は、五百五十円になります。

血液の知識

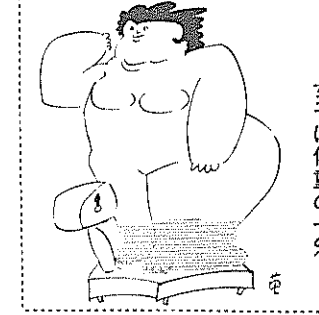
血液の役割

血液は、身体に必要な栄養を配給し、同時に不用になったものを体外に運び出す役目をもつて、全身を循環しているもので、人間にとって最も大切なものの一つです。

こんな場合、輸血によって血液を補うわけですが、輸血量が多すぎても逆に生命が危険になるおそれがあります。

血液は体重の6~8パーセントを失うと危険

血液の代用品はなく、血液の不足は、血液そのものを補給しなければなりません。



血液の量 女子は体重の七%

現在のところ血液の代用品はなく、血液の不足は、血液そのものを補給しなければなりません。普通成人者の場合は、体重の六~八%で、平均男子は八~二%、女子は七%と、体重の十二分の一から十三分の一程度です。